

美容に関する意識調査

**肌の自信は40代が谷間、その後は回復し60代以上は過半数が「自信あり」
化粧品も断捨離の時代！？ 8割以上がシンプルなケアを支持
肌本来の力を生かす「自立肌」が人気
白斑報道が影響？ 刺激や成分の浸透避ける傾向**

マイボイスコム株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長：高井和久）は、2013年10月8日～9日に、美容に関する意識調査をインターネット上で実施しました。

対象は、全国20～79歳の女性で、各年代（20代／30代／40代／50代／60代以上）100件、計500件の回答を集めました。

【調査リリースサマリー】

①「肌」に自信がある人ほど、「外見」や「恋愛」に自信がある傾向

肌に自信がある人の59.5%が外見にも自信がある一方、肌に自信がない人で外見に自信があるのは16.7%。同じく肌に自信がある人のうち、44.3%が恋愛に対して自信があり、肌に自信がない人で恋愛に自信があると回答したのはわずか16.7%だった。

②肌への自信は40代が最低、60代以上は53.0%が肌に自信があると回答

20代では「自分の肌への自信がある」のは26.0%、40代では22.0%と低下する。それに対して60代以上では、53.0%が肌に「自信がある」と回答、各年代別で最も高いスコアとなった。

③基礎化粧品、数は少なく、より高級なものを使いたい傾向

使用している基礎化粧品の種類は、平均約2.5種類、かけている金額1位は「1001円～2000円」。理想は平均約2.3種類、「2001円～3000円」が1位で、より高級なもので手間をかけずにお手入れをしたい傾向がわかった。

④理想のスキンケアは断然「シンプル」派、肌本来の力をよみがえらせる「自立肌」が人気

肌にとって本当に良いと思うことは、81.2%の人が「シンプルな手入れをすること」と回答。化粧品に本当に必要な役割だと思うことは、1位の「乾燥を防ぐこと」（61.2%）に次いで、55.6%の人が「肌本来の力を引き出すこと」と回答した。肌本来の力をよみがえらせる「自立肌」になりたい人は82.0%で、化粧品の成分に頼るのではなく、肌本来の力を呼び覚ますスキンケアに注目が集まっている。

⑤「白斑」に関する報道が女性の化粧品リスク意識に影響

化粧品のトラブルについて自由記入で回答を得たところ「白斑」に関する記述が91.0%を占めている。女性が気になる肌のリスクについては、1位「化粧品への肌の刺激の強さ」、次いで、「強すぎる成分が肌の奥まで浸透してしまうこと」が2位に昇った。「白斑の原因」は「化粧品の成分が肌の奥まで浸透して影響を及ぼしたこと」と42.6%が回答。

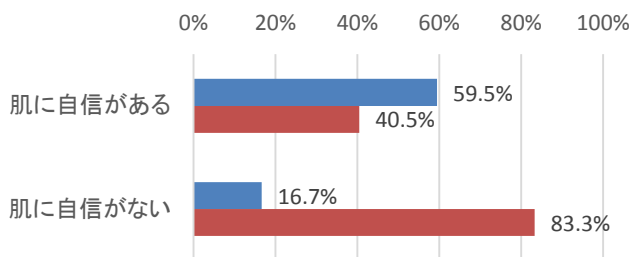
調査結果

①肌への自信と外見・恋愛への自信への関係

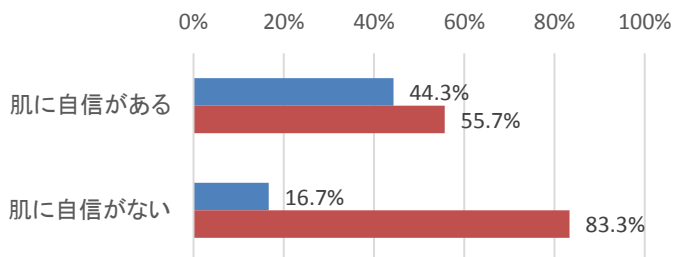
肌に自信があると答えた人（「とても自信がある」「まあまあ自信がある」）のうち、59.5%が外見に対して自信がある（「とても自信がある」「まあまあ自信がある」）と回答した一方、肌に自信がないと回答した人（「あまり自信がない」「全く自信がない」）では、外見に対して自信があると回答したのはわずか16.7%でした。肌への自信が外見への自信につながっていることが読み取れる結果となりました。

同じ傾向が恋愛に対する自信についての調査結果にも出ていました。肌に自信があると答えた人のうち、44.3%が恋愛に対して自信がある（「とても自信がある」「まあまあ自信がある」）と回答した一方、肌に自信がないと回答した人では、恋愛に対して自信があると回答したのはわずか16.7%でした。

肌に自信をつけることで外見への自信、恋愛への自信と、いい循環を生むのかもしれない。



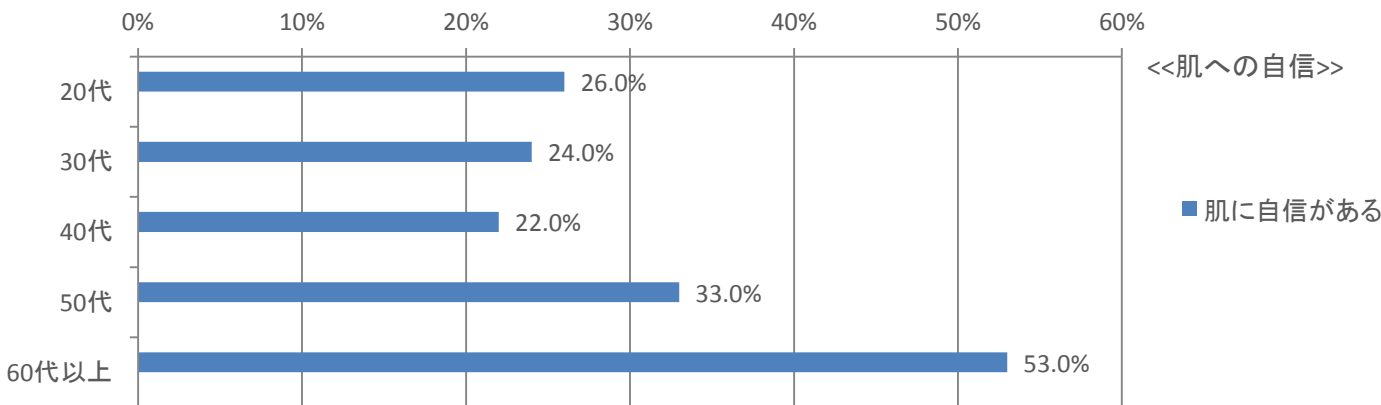
■ 外見に自信がある ■ 外見に自信がない



■ 恋愛に自信がある ■ 恋愛に自信がない

②年代別の肌への自信

肌への自信を年代別で見ると、20代で「肌に自信がある」（「とても自信がある」「まあまあ自信がある」）のは26.0%、30代で24.0%と下降し、40代では22.0%と最低。対して50代では33.0%と上昇、60代以上では53.0%が肌に「自信がある」と回答した。シニア世代こそ自分の肌に自信を持っていることがわかった。



<<肌への自信>>

■ 肌に自信がある

③スキンケアの実情と理想

普段、肌のお手入れに使用している基礎化粧品の種類数について尋ねたところ、平均約2.5種類を使用しているという結果でしたが、理想として何種類使用したいかという問いに対しては、平均約2.3種類という結果でした。

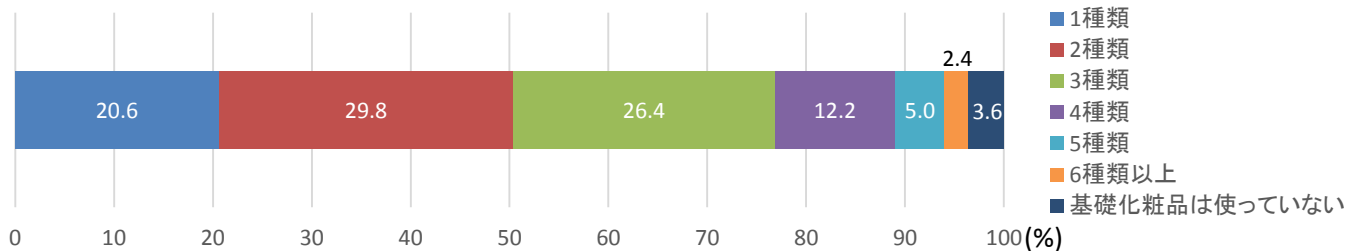
化粧品の数はいくらか少ないと、より手間をかけずにスキンケアをしたいという傾向がうかがえました。

一方、毎月かけている金額については、現状1位が「1001円～2000円」(20.6%)、2位が「0円～1000円」(19.4%))に対して、いくらかけたいかの理想は、1位が「2001円～3000円」(20.8%)、2位が「1001円～2000円」(18.8%)と、より高級なものを使いたい傾向がうかがえました。

今よりも高級なものを、数は少なく、シンプルなスキンケアを望んでいるようです。

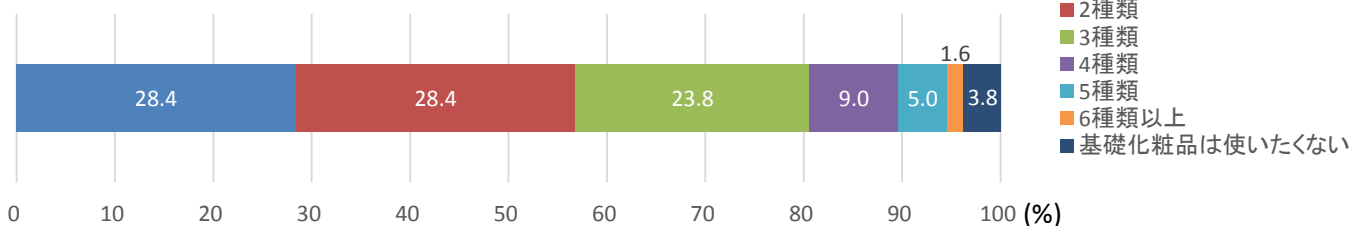
平均2.5種類

《現在使用している基礎化粧品の種類数》

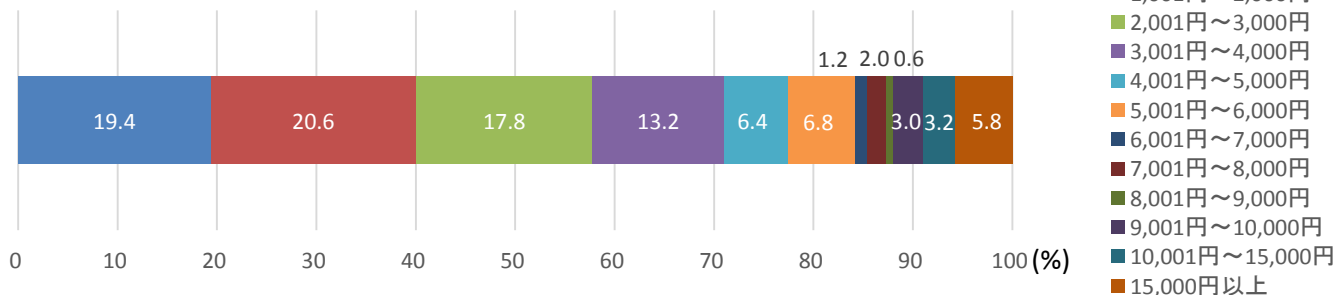


平均2.3種類

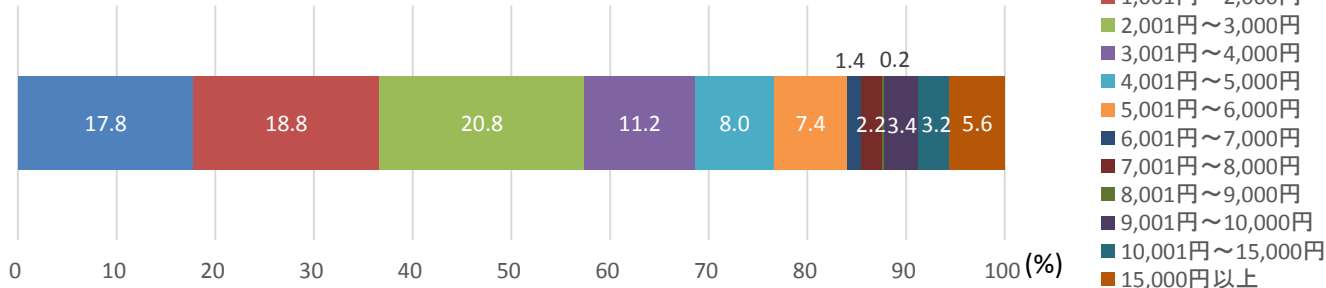
《理想として使用したい基礎化粧品の種類数》



《現状、基礎化粧品にかけている金額》



《理想として基礎化粧品にかけたい金額》



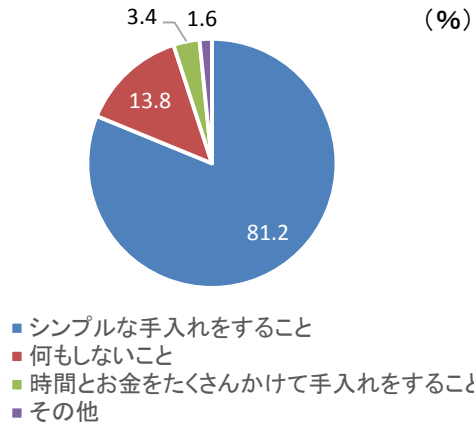
④化粧品に求めること

肌にとって本当に良いと思うことは、81.2%の人が「シンプルな手入れをすること」と回答しました。一見肌にいいと思われがちな「時間とお金をかけて手入れをすること」と回答した人はわずか3.4%で、「何もしないこと」と回答した人13.8%よりも少ない結果となりました。

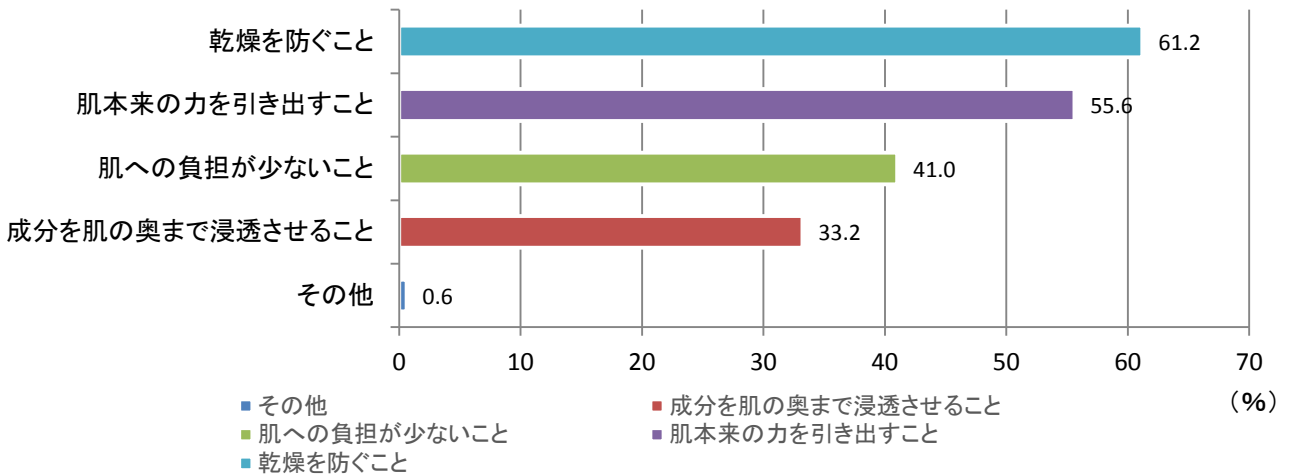
また、化粧品に本当に必要な役割は何だと思えますかという問い(複数回答)に対しては、1位の「乾燥を防ぐこと」(61.2%)に次いで、55.6%の人が「肌本来の力を引き出すこと」と回答しました。一方、「成分を肌の奥まで浸透させること」が化粧品に必要な役割と思う人は33.2%にとどまりました。

肌本来の力をよみがえらせる「自立肌」になりたいと回答した人は82.0%で、化粧品の成分に頼るのではなく、肌本来の力を呼び覚ますスキンケアに注目が集まっているようです。

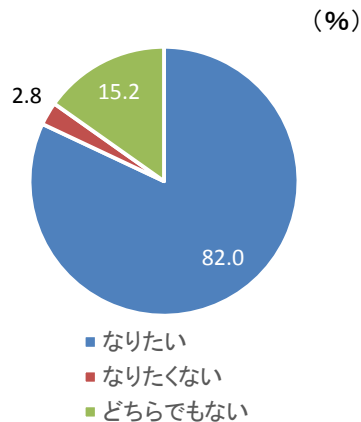
《肌にとって本当に良いと思うこと》



《化粧品に本当に必要だと思う役割》



《“自立肌”をどう思うか》

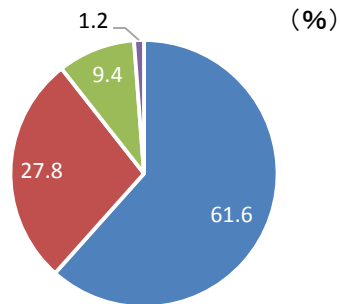


⑤化粧品のリスク

肌にとってのリスクは何かという質問に対しては、1位が「肌表面への強い刺激」(61.6%)、2位が「強すぎる成分が肌の奥まで浸透すること」(27.8%)という結果になり、「何もしないこと」(9.4%)よりも、むしろ化粧品自体が肌のリスクになり得ると考える人が多い結果となりました。

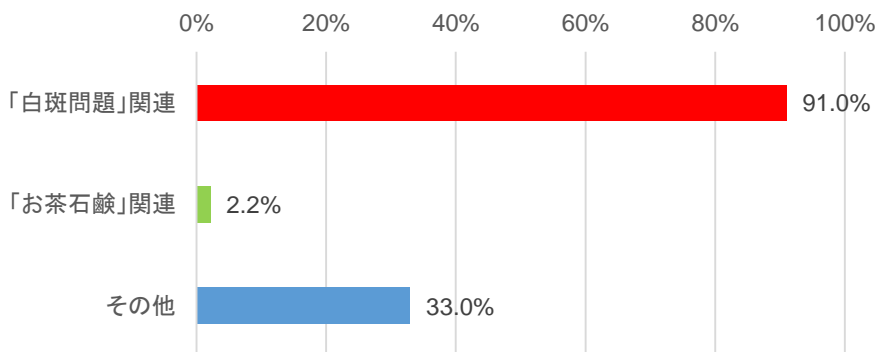
「化粧品によるトラブル」と聞いて、最近思い出すこと(自由回答)については、91.0%が「白斑問題」と回答し、関心の高さがうかがえました。また、「白斑」の原因だと思うこと1位は「化粧品の成分が肌の奥まで浸透して影響を及ぼしたこと」(42.6%)で、「白斑」トラブルの原因を「浸透し過ぎ」と捉えている人が多いことから、前述のように「浸透＝リスク」の認識が高い結果になったとも考えられます。

《肌にとってリスクだと思うこと》

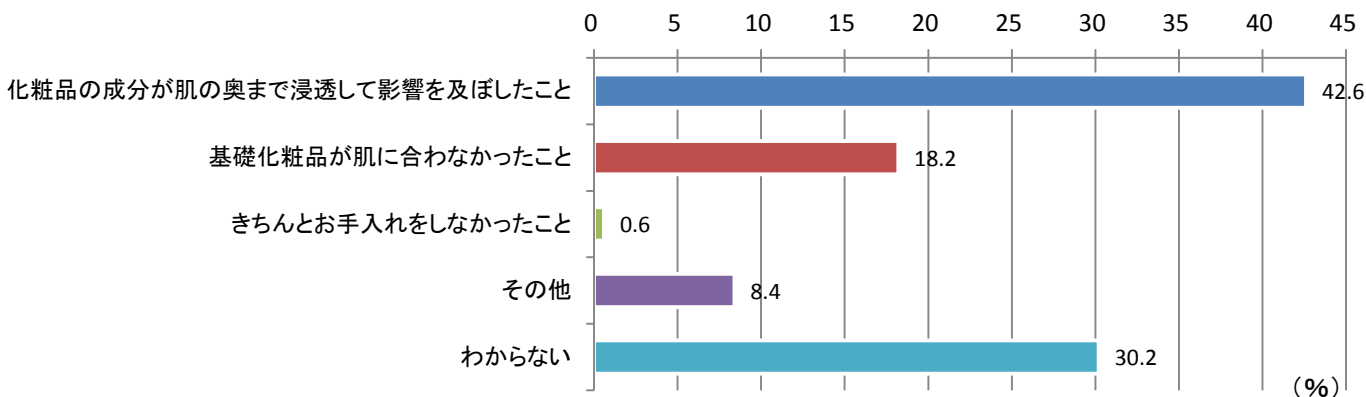


- 肌表面への刺激が強いこと
- 強すぎる成分が肌の奥まで浸透してしまうこと
- 何もしないこと
- その他

《化粧品によるトラブルで最近思い出すこと(自由回答)》



《白斑問題の原因だと思うこと》



<本件リリース調査結果およびマイボイスコムに関するお問い合わせ先>



マイボイスコム株式会社 松野・新井
 (TEL・FAX)03-5217-1911・03-5217-1913 (Email)otoiawase@myvoice.co.jp
 (URL)http://www.myvoice.co.jp

■会社概要

所在地 : 東京都千代田区神田錦町3-17-11 榮葉ビル5階
 設立 : 1999年7月
 資本金 : 1億7,800万円
 代表者 : 代表取締役社長 高井和久
 従業員数 : 45名

■事業内容

ネットリサーチ、行動付随調査、従来型調査、アンケートデータベース 等
 マイボイスコム(株)は約110万人のモニター組織を運営し、調査設計から、調査票作成、回収、集計分析、レポート作成と報告までをトータルに提供する、ネットリサーチを中心としたリサーチ会社です。